

ProDeploy Plus for RecoverPoint

モデル番号 : PS-PDP-RPVMXDP、PS-PDP-RPVPLXDP、PS-PDP-RPXTDP、PS-PDP-RPUNIDP、PS-PDP-RPVXFLEXDP、PS-PDP-RP4VM DP、PS-PDP-RPV RPTDP

サービス概要

ProDeploy Plus for Recoverpoint サービスは、Dell EMC RecoverPoint 保護の設計とお客様の SAN（ストレージ エリア ネットワーク）への実装で構成されます。Dell EMC は、環境を分析して、帯域幅要件、コンシステンシー グループの構成、レプリケーション タイプ、サイズ設定、ジャーナル ボリュームを決定し、お客様のニーズに応じて RecoverPoint アーキテクチャを設計および実装します。

PS-PDP-RPVMXDP- ProDeploy Plus for RecoverPoint with PowerMax

このサービスでは、RecoverPoint/EX コンカレント ローカル/リモート データ保護を実装し、同期または非同期レプリケーションを提供します。Dell EMC は、スプリッタ ベースまたはスナップ ベースのいずれかのレプリケーションを使用して、2 台の RPA（RecoverPoint アプライアンス）をデータセンター インフラストラクチャに統合し、PowerMax/VMAX を構成します。これにより、RecoverPoint とともに使用して、サポートされるシステム上でデータベースとファイル システムのレプリカを作成します。本サービスでは、RecoverPoint/EX ローカル/リモートレプリケーション導入環境に対応します。

注：スナップベースのレプリケーションは、PowerMax/VMAX/AF と PowerMax/VMAX3 アレイにのみ使用できます。

PS-PDP-RPVPLXDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with VPLEX

このサービスでは、RecoverPoint/EX CLR（コンカレント ローカル/リモート）データ保護を実装し、同期または非同期レプリケーションを提供します。Dell EMC は、VPLEX ベースのスプリッタを使用して 2 台の RecoverPoint アプライアンスをデータセンター インフラストラクチャに統合します。これによって、サポートされるシステム上でデータベースとファイル システムのレプリカが作成されます。

このサービスではこれらの単一の導入について説明します。

- VPLEX ローカルおよび Metro と RecoverPoint/EX CDP（継続的なデータ保護） — RecoverPoint/EX は、1 つのサイトでポイント イン タイムの保護を提供。VPLEX Metro のアクティブ/アクティブ コピーにより災害の回避が可能。

これらの導入をカバーするために、このサービスを 2 回販売できます。

- VPLEX ローカルと RecoverPoint/EX CRR（継続的なリモートレプリケーション） — RecoverPoint/EX は、リモートレプリケーションとポイント イン タイム リカバリを提供。
- VPLEX ローカルと RecoverPoint/EX CLR — RecoverPoint/EX は、1 つのリモート サイトへのレプリケーションと、ローカル サイトからのポイント イン タイム リカバリを提供。

- VPLEX Metro と RecoverPoint/EX CRR — VPLEX Metro のアクティブ/アクティブ コピーにより、災害の回避を提供。RecoverPoint/EX は、リモート コピーとポイント イン タイム リカバリを提供。

PS-PDP-RPXTDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with XtremIO

このサービスでは、RecoverPoint/EX コンカレント ローカル/リモート データ保護を実装し、同期または非同期レプリケーションを提供します。Dell EMC は、スプリッタ ベースまたはスナップ ベースのいずれかのレプリケーションを使用して、2 台の RPA (RecoverPoint アプライアンス) をデータセンター インフラストラクチャに統合し、XtremIO を構成します。これにより、RecoverPoint とともに使用して、サポートされるシステム上でデータベースとファイル システムのレプリカを作成します。本サービスでは、RecoverPoint/EX ローカル/リモート レプリケーション導入環境に対応します。

PS-PDP-RPUNIDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with Unity

このサービスでは、Dell EMC RecoverPoint/SE または RecoverPoint Basic (コンカレント ローカルおよびリモート) データ保護を実装し、同期または非同期レプリケーションを提供します。Dell EMC では、サポートされているシステムに本番ボリュームのレプリカを作成する Unity、VNX、または VNXe3200 アレイ ベースのスプリッタを使用して、サイトあたり 2 つの物理または仮想 RecoverPoint Appliances (vRPA) をデータセンター インフラストラクチャに統合します。

Unity、VNX、VNXe3200 スプリッタは、サイトあたり 1 つのストレージ アレイ上でアレイ ベースのスプリッタとしてサポートされています。仮想 RPA の場合、Dell EMC はアレイで iSCSI を構成し、RecoverPoint Deployment Manager を使用して、vRPA とアレイとの間に iSCSI パスを構成します。ファイバー チャネルまたは iSCSI ネットワークはすべて、お客様の責任で用意していただく必要があります。このサービスは、RecoverPoint/SE または RecoverPoint Basic ローカルおよびリモート レプリケーション導入に対応します。

注：vRPA は、VNX 5300 以降および VNXe3200 でのみサポートされています。

PS-PDP-RPVXFLEXDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with VxFlex OS

このサービスでは、VxFlex OS システム用の RecoverPoint/EX レプリケーション ソリューションの設計、インストール、実装を行います。VxFlex OS では、ローカル アプリケーション サーバ ストレージのサーバ ベースの仮想 SAN とコンピューティング リソースを提供します。Dell EMC は、1 つのデータセンター インフラストラクチャに 2 つの物理 RecoverPoint アプライアンスを統合し、RecoverPoint を構成して VxFlex OS で使用できるようにします。また、レプリケーションを必要とする 2 台の VxFlex OS データ クライアント ノードに VxFlex OS スプリッタを導入します。本サービスでは、RecoverPoint/EX ローカル/リモート レプリケーション導入環境に対応します。

注：ターゲットの VxFlex OS システムが完全に動作可能な状態で、レプリケーションを必要とするすべての VxFlex ノードに VxFlex OS データ クライアントがインストールされていなければなりません。物理 RPA (第 6 世代以降) は、VxFlex OS データ クライアント コンポーネントで事前構成されている必要があります。

PS-PDP-RP4VMDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint for VM

このサービスは、お客様の VMware 環境におけるローカルおよびリモートでのレプリケーション用の Dell EMC RecoverPoint for Virtual Machines (RP4VM) 製品の設計、インストール、実装を行います。Dell EMC は、各サイトにおいて 2 つの vRPA で構成される単一の vRPA クラスターをインストールし、実装の動作条件を確認します。また、レプリケーション、フェールオーバー、フェールバックの基本的な操作を紹介し、サービスの範囲は、ローカルおよびリモートでのレプリケーションの構成に限定されます。

サービスの目的は、最小の RP4VM ソリューションを完全に動作する仮想環境に導入し、製品のインプリメンテーション、主な特徴、機能をお客様に紹介することです。お客様はこの知識を適用して、ビジネスおよびテクニカル要件に応じてこの基本インストールを個別に拡張することができます。設計と計画作業では、VMware インフラストラクチャ内のすべての仮想マシンが考慮されるわけではありません。ただし、Dell EMC は必要なネットワーク、ストレージ、インフラストラクチャに関して、お客様にベスト プラクティスの参考資料を提供します。

PS-PDP-RPVRTDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint

このサービスは、Dell EMC RecoverPoint 保護の設計とお客様の SAN (ストレージ エリア ネットワーク) への実装で構成されます。Dell EMC は、環境を分析して、帯域幅要件、コンシステンシー グループの構成、レプリケーション タイプ、サイズ設定、ジャーナル ボリュームを決定し、お客様のニーズに応じて RecoverPoint アーキテクチャを設計および実装します。Dell EMC は、RecoverPoint アプライアンスをお客様の新規または既存のデータセンター インフラストラクチャに設置し、データベースとファイル システムのレプリカをサポートされるオペレーティング システム上で作成します。

プロジェクト範囲

Dell EMC の担当者または認定代理店 (以下「Dell EMC 担当者」) は、お客様のスタッフと緊密に連携して、本書に詳述されている「お客様の責任」を満たすお客様の下で、下記のサービス (「サービス」) を実行するものとします。

PS-PDP-RPVXDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with PowerMax

このサービスには、次の要素が含まれます (ここに示した値を上限とします)。

- 既存の物理ホスト : 1
- 既存の ESX サーバー数 : 1
- 既存の RecoverPoint クライアント数 : 5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数 : 2
- PowerMax/VMAX アレイ数 : 1

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせをして、環境や運用に関する導入要件 (ハードウェア、ソフトウェア、インフラストラクチャ) が満たされていることを確認し、変更が必要な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業を計画しスケジュールを立案します。

- お客様によって収集および提供された、ホストおよびストレージ環境に関する情報のレビューを実施します。
- 手動（プラットフォーム固有）の方法を使用して、ホストとストレージの構成データを収集します。
- EMC ツールを使用してホスト環境の構成情報を収集します。
- 分析のために SAN スイッチとダイレクタの情報を収集します。
- 既存ストレージ構成情報を収集します。
- 収集された既存スイッチおよびダイレクターの情報を分析し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアに対して必要な変更を文書化して、リストをお客様に提供します。
- 既存の Unity または VNX ブロック ストレージの構成情報を収集します。
- 既存のストレージ アレイの構成情報を収集します。
- 既存の XtremIO ストレージの構成情報を収集します。
- 収集された既存ホスト データの分析を完了し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアへの必要な変更をドキュメント化し、そのリストをお客様に提供します。
- ファイルをダウンロードし、バッチ解析ツールを使用してファイルを処理した後、レポートを生成して、お客様と打ち合わせします。
- Grab をダウンロードしてバッチ処理し、レポートを生成します。
- 収集された既存の Unity または VNX ブロックデータに関して分析を実行します。
- 収集されたデータを分析します。
- 収集された既存の XtremIO データに関して分析を実行します。
- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- SAN 関連作業を実施します。
- ネットワーク（LAN と SAN） およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。

- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。
- リモートサイトをセットアップします。
- RecoverPoint を使用できるように PowerMax/VMAX を設定します。
- RecoverPoint（コンシステンシーグループ、レプリケーションジョブなど）を設定します。
- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RPVPLXDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with VPLEX

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の物理ホスト：1
- 既存の ESX サーバー数：1
- 既存の RecoverPoint クライアント数：5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数：2

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせをして、環境や運用に関する導入要件（ハードウェア、ソフトウェア、インフラストラクチャ）が満たされていることを確認し、変更が必要な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業を計画しスケジュールを立案します。
- お客様によって収集および提供された、ホストおよびストレージ環境に関する情報のレビューを実施します。
- 手動（プラットフォーム固有）の方法を使用して、ホストとストレージの構成データを収集します。
- EMC ツールを使用してホスト環境の構成情報を収集します。
- 分析のために SAN スイッチとダイレクタの情報を収集します。
- 既存ストレージ構成情報を収集します。
- 収集された既存スイッチおよびダイレクターの情報を分析し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアに対して必要な変更を文書化して、リストをお客様に提供します。
- 既存の Unity または VNX ブロックストレージの構成情報を収集します。
- 既存のストレージアレイの構成情報を収集します。

- 既存の XtremIO ストレージの構成情報を収集します。
- 収集された既存ホストデータの分析を完了し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアへの必要な変更をドキュメント化し、そのリストをお客様に提供します。
- ファイルをダウンロードし、バッチ解析ツールを使用してファイルを処理した後、レポートを生成して、お客様と打ち合わせします。
- Grab をダウンロードしてバッチ処理し、レポートを生成します。
- 収集された既存の Unity または VNX ブロックデータに関して分析を実行します。
- 収集されたデータを分析します。
- 収集された既存の XtremIO データに関して分析を実行します。
- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- SAN 関連作業を実施します。
- ネットワーク（LANとSAN）およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。
- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。
- リモートサイトをセットアップします。
- VPLEX ベースのスプリッタが既存の VPLEX クラスター上にあることを確認します。
- RecoverPoint（コンシステンシーグループ、レプリケーションジョブなど）を設定します。
- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RPXTDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with XtremIO

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の物理ホスト：1
- 既存の ESX サーバー数：1
- 既存の部門スイッチ：1
- XtremIO クラスタ：1
- 既存の RecoverPoint クライアント数：5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数：2

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせをして、環境や運用に関する導入要件（ハードウェア、ソフトウェア、インフラストラクチャ）が満たされていることを確認し、変更が必要な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業を計画しスケジュールを立案します。
- お客様によって収集および提供された、ホストおよびストレージ環境に関する情報のレビューを実施します。
- 手動（プラットフォーム固有）の方法を使用して、ホストとストレージの構成データを収集します。
- EMC ツールを使用してホスト環境の構成情報を収集します。
- 分析のために SAN スイッチとダイレクタの情報を収集します。
- 既存ストレージ構成情報を収集します。
- 収集された既存スイッチおよびダイレクターの情報を分析し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアに対して必要な変更を文書化して、リストをお客様に提供します。
- 既存の Unity または VNX ブロック ストレージの構成情報を収集します。
- 既存のストレージ アレイの構成情報を収集します。
- 既存の XtremIO ストレージの構成情報を収集します。
- 収集された既存ホストデータの分析を完了し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアへの必要な変更をドキュメント化し、そのリストをお客様に提供します。
- ファイルをダウンロードし、バッチ解析ツールを使用してファイルを処理した後、レポートを生成して、お客様と打ち合わせします。
- Grab をダウンロードしてバッチ処理し、レポートを生成します。
- 収集された既存の Unity または VNX ブロックデータに関して分析を実行します。
- 収集されたデータを分析します。

- 収集された既存の XtremIO データに関して分析を実行します。
- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- SAN 関連作業を実施します。
- ネットワーク（LANとSAN）およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。
- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。
- リモート サイトをセットアップします。
- RecoverPoint の XtremIO スナップショットを設定します。
- RecoverPoint（コンシステンシー グループ、レプリケーション ジョブなど）を設定します。
- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RPUNIDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with Unity

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の物理ホスト：1
- 既存の ESX サーバー数：1
- 既存の RecoverPoint クライアント数：5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数：2

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせをして、環境や運用に関する導入要件（ハードウェア、ソフトウェア、インフラストラクチャ）が満たされていることを確認し、変更が必要な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業を計画しスケジュールを立案します。
- お客様によって収集および提供された、ホストおよびストレージ環境に関する情報のレビューを実施します。
- 手動（プラットフォーム固有）の方法を使用して、ホストとストレージの構成データを収集します。
- EMC ツールを使用してホスト環境の構成情報を収集します。
- 分析のために SAN スイッチとダイレクタの情報を収集します。
- 既存ストレージ構成情報を収集します。
- 収集された既存スイッチおよびダイレクターの情報を分析し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアに対して必要な変更を文書化して、リストをお客様に提供します。
- 既存の Unity または VNX ブロック ストレージの構成情報を収集します。
- 既存のストレージ アレイの構成情報を収集します。
- 既存の XtremIO ストレージの構成情報を収集します。
- 収集された既存ホストデータの分析を完了し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアへの必要な変更をドキュメント化し、そのリストをお客様に提供します。
- ファイルをダウンロードし、バッチ解析ツールを使用してファイルを処理した後、レポートを生成して、お客様と打ち合わせします。
- Grab をダウンロードしてバッチ処理し、レポートを生成します。
- 収集された既存の Unity または VNX ブロックデータに関して分析を実行します。
- 収集されたデータを分析します。
- 収集された既存の XtremIO データに関して分析を実行します。
- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- SAN 関連作業を実施します。

- ネットワーク（LANとSAN）およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。
- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。
- リモート サイトをセットアップします。
- アレイ ベースのスプリッター ドライバーのインストール。
- 既存の Unity アレイおよび VNX アレイ上での、アレイ ベースのスプリッター ソリューションの設定。
- RecoverPoint（コンシステンシー グループ、レプリケーション ジョブなど）を設定します。
- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RPVXFLEXDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint with VxFlex OS

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の物理ホスト：1
- 既存の ESX サーバー数：1
- 既存の RecoverPoint クライアント数：5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数：2

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせをして、環境や運用に関する導入要件（ハードウェア、ソフトウェア、インフラストラクチャ）が満たされていることを確認し、変更が必要な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業を計画しスケジュールを立案します。
- お客様によって収集および提供された、ホストおよびストレージ環境に関する情報のレビューを実施します。
- 手動（プラットフォーム固有）の方法を使用して、ホストとストレージの構成データを収集します。
- EMC ツールを使用してホスト環境の構成情報を収集します。
- 分析のために SAN スイッチとダイレクタの情報を収集します。
- 既存ストレージ構成情報を収集します。

- 収集された既存スイッチおよびダイレクターの情報を分析し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアに対して必要な変更を文書化して、リストをお客様に提供します。
- 既存の Unity または VNX ブロック ストレージの構成情報を収集します。
- 既存のストレージ アレイの構成情報を収集します。
- 既存の XtremIO ストレージの構成情報を収集します。
- 収集された既存ホスト データの分析を完了し、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアへの必要な変更をドキュメント化し、そのリストをお客様に提供します。
- ファイルをダウンロードし、バッチ解析ツールを使用してファイルを処理した後、レポートを生成して、お客様と打ち合わせします。
- Grab をダウンロードしてバッチ処理し、レポートを生成します。
- 収集された既存の Unity または VNX ブロックデータに関して分析を実行します。
- 収集されたデータを分析します。
- 収集された既存の XtremIO データに関して分析を実行します。
- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- SAN 関連作業を実施します。
- ネットワーク (LAN と SAN) およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。
- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。
- リモート サイトをセットアップします。
- レプリケーションを必要とする VxFlex ホスト上に VxFlex OS 書き込みスプリッタをインストールします。
- RecoverPoint 統合のための VxFlex OS システムを構成します。
- RecoverPoint (コンシステンシー グループ、レプリケーション ジョブなど) を設定します。

- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RP4VMDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint for VM

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- サイト : 2
- 保護を必要とする仮想マシン : 1
- 仮想 RecoverPoint アプライアンス (vRPA) : 4
- vRPA クラスターをホストしている ESXi サーバー数 : 2
- 保護対象 VM をホストしている ESXi サーバー数 : 4
- 仮想 RecoverPoint アプライアンス クラスター : 2
- vCenter サーバー : 1
- VM システム向け RecoverPoint : 1
- レプリカ VM をホストしている ESXi サーバー数 : 4
- コンシステンシー グループ : 1

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- この契約に必要な情報を収集します。
- RecoverPoint for Virtual Machines の実装を計画および設計します。
- テスト計画書を作成します。
- 提案するアーキテクチャを構成ガイドで文書化します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 導入についてのレビュー会議を実施します。
- 機器がオンサイトの適切な場所に設置され、電力および配線要件が満たされていることを確認します。
- RecoverPoint for Virtual Machines 実装の前提条件（互換性、ライセンス、認証情報、データストア、ネットワークなど）を確認します。
- vRPA（仮想 RecoverPoint アプライアンス）を設置して構成します。

- vRPA クラスタを設置して接続します。
- RecoverPoint for VMs システムに vCenter Server を登録します。
- RecoverPoint for VMs システムのライセンス取得、登録、サポート アクティブ化を行います。
- データストアと ESXi クラスタを登録します。
- RecoverPoint レプリカを作成します。
- コンシステンシー グループを作成し、レプリケーション ポリシーを定義します。
- コンシステンシー グループの初期化を監視します。
- 必要に応じて、カスタム スクリプト作成を実行します。
- テスト計画書を使用して必要なテストを実施します。
- お客様が製品アラートを受け取るための登録をします。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

PS-PDP-RPVRPTDP - ProDeploy Plus for RecoverPoint

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の RecoverPoint クライアント数：5
- 既存の RecoverPoint 物理アプライアンスの全サイト数：2

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- このサービスに必要な情報を収集します。
- 環境がすべてのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。
- エンゲージされるソリューションを設計します。
- RecoverPoint 設計作業の一環として帯域幅分析を実行します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- SAN 関連作業を実施します。
- ネットワーク（LANとSAN）およびアプライアンスの残りのパラメーターを設定します。
- お客様の仮想インフラストラクチャに仮想 RecoverPoint アプライアンスを導入します。
- 仮想アプライアンスの運用をサポートするよう仮想リソースを構成し、有効化します。

- リモートサイトをセットアップします。
- インストールベースを更新します。
- RecoverPoint（コンシステンシーグループ、レプリケーションジョブなど）を設定します。
- テスト計画書に記載されているテストを実行します。
- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。
- テスト計画書を完成させ、配布します。
- 基本的な知識の伝達を行います。

すべてのサービス（お客様が選択した付加導入サービスを含む）に含まれる次のアクティビティは、プロジェクトの開始、計画、実行、終了の管理（デリバリアリソースの調整および関係者との通信を含む）に焦点を当てています。

- プロジェクトに割り当てられている Dell EMC リソースの管理。
- お客様によって指名された専任の問い合わせ窓口と協力して、プロジェクトのタスクおよびそのタスクを遂行するために割り当てられたリソースを調整します。
- すべてのプロジェクトのコミュニケーションとエスカレーションのための単一の窓口としての行動。
- エンゲージメントプロセスとスケジュールの決定。
- クリティカルパスイベントとマイルストーンを含む高レベルのプロジェクト計画の開発。
- キックオフミーティングを開催し、プロジェクトの範囲、予定成果、コミュニケーション計画、必要なリソースの可用性について検討。
- 定期的なステータスミーティングを開き、プロジェクトのプロセス、問題点、潜在的なリスクを確認します。ミーティングの頻度は、お客様と Dell EMC の合意に基づいて決定します。
- プロジェクト完了の調整を行います。

配布資料

Dell EMC はサービスに関連して以下の配布資料をお客様に提供します。

- 構成ガイド
- テスト計画書
- 作業完了報告書

プロジェクト後 30 日間の構成サポート

導入日から最長 30 日間、ご購入のサポート対象製品（以下に定義）および本サービスに含まれるコンポーネントに対し、Dell EMC はリモート構成サポートを提供します。導入チームがお客様のもとを離れた後構成についてご不明な点がある場合、Dell のテクニカルレポートに電話して初回サポートを受けてください。より高度なサポートが必要な場合、Dell が適切なチームに指示して構成サポートで支援する時間をスケジュールします。

Dell 教育サービス用のトレーニング クレジット

一部のサポート対象製品と一緒に使用するために本サービスを購入したお客様にも、Dell EMC エデュケーション サービス トレーニング クレジット（以下「トレーニング クレジット」という）が付与されます。注文書をチェックし、ご購入のサービスに ProDeploy Plus トレーニングクレジット SKU が含まれているかどうかを確認してから、サービスの購入によりどのくらいトレーニングクレジットを受け取れるかを確認してください。トレーニング クレジットは、Dell EMC エデュケーション サービスにより提供されるトレーニング コース（Dell EMC 技術者認定トレーニング、専用トレーニング、オンサイト トレーニング、またはオンライン コースなど）の購入に柔軟に利用できます。トレーニング クレジットで購入できるコースのリストを閲覧するには、

<http://education.dell EMC.com> にアクセスしてください。トレーニング クレジットによる購入は、Dell EMC エデュケーション サービスにより提供されるトレーニングにのみ利用できます。たとえば、トレーニング クレジットをサードパーティのソフトウェア製品やサービスのトレーニングに利用することはできません。トレーニング クレジットを利用して Dell EMC エデュケーション サービスのトレーニング コースを購入できる期間は 12 か月間です。すべてのトレーニング コースは、適用法により別途規定されている場合を除き、オーダー フォームに記載された本サービスの購入日から該当する 12 か月間が満了する前にスケジュールする必要があります。購入すると、12 か月間の注文期間の開始日と終了日に関する情報が Dell EMC からお客様に提供されます。お客様は、この期間内にトレーニング クレジットを利用して Dell EMC エデュケーション サービスと引き換える必要があります。お客様が購入したトレーニング クレジットの見返りとして Dell EMC エデュケーション サービス トレーニングを提供するという Dell EMC の義務は、お客様がトレーニング クレジットを利用して Dell EMC エデュケーション サービス トレーニングを購入しなかった場合でも、お客様がトレーニング クレジットを購入した日から 12 か月後に果たされたと思なされるものとします。

Dell EMC スタッフ

Dell EMC は、上記の「プロジェクト範囲」セクションで指定されたサービスを実行するための適切な Dell EMC 担当者を提供します。

お客様の責任

本書に記載されているサービスを実施するには、お客様がオフィス用備品、設備、機器、補助、協力、お客様の役員、職員、従業員からの完全かつ正確な情報とデータ、適切に構成されたコンピューター製品、およびネットワークアクセスを Dell EMC に適時提供することが不可欠です。お客様は、本サービスの開始前にす

すべてのデータのバックアップを済ませておく必要があります。Dell EMC は、本サービスに関連するデータの損失、データアクセスの喪失、およびデータの復旧不能について一切責任を負いません。

さらに、お客様は以下の責任を負うものとします。

- Dell EMC または認定パートナーが、装置の準備を行うために必要となるシステム保守ウィンドウを、必要に応じて確保します。
- 必要に応じて、技術サポート チームによる導入チーム、ベンダー、サード パーティに対するサポートを提供します。
- ネットワーク接続、パフォーマンス、構成に関する問題については、お客様が全責任を負うものとします。
- 1 人以上の技術担当者を指名して、システム管理責任および適切なシステム / 情報アクセス権限を付与してください。
- サービスの開始前に、環境および運用に関するすべての要件が満たされていることを確認します。
- Dell EMC のオンサイト担当者、オフサイト担当者、もしくは、認定パートナーに対して、Dell EMC の通常営業時間内または相互に合意した時間帯に、本サービスを実施するために必要なお客様のシステムとネットワークへのアクセスを提供します（リモートからのシステム ネットワークへのアクセスを含みますが、これらに限定されません）。
- 本サービスを実施できる状態になるように作業サイトの準備を整えます。

サービススケジュール

別途書面で合意されていない限り、サービスの予想開始日は、このサービスのお客様の購入オーダーを Dell EMC が受領し、承認してから 2 週間以内です。

お客様は、Dell EMC の請求書の日付から 12 か月以内に、本書に記載されているサービスを使用するものとします（以下「サービス期間」）。Dell EMC の別途合意がない限り、本サービスは、サービス期間の最終日に自動的に無効となります。ただし、Dell EMC とお客様が適用される法律を遵守していることを条件として、本条項と、本サービスの購入を承認するお客様のマスター契約との間に矛盾が生じた場合は、マスター契約が本サービス ブリーフよりも優先されます。本サービス ブリーフに記載されているサービスの範囲の完了と、お客様への成果物の提供は、該当する場合、お客様が本サービスに関して受け取った見積りまたは請求書に記載されている時間にかかわらず、本サービスの完全なパフォーマンスを構成するものとします。いかなる状況においても、Dell EMC とお客様との間での別途合意がない限り、お客様は本サービスの未使用部分のクレジットまたは払い戻しを受ける権利を有しません。ただし、Dell EMC とお客様が適用される法律を遵守していることを条件として、本条項と、本サービスの購入を承認するお客様のマスター契約との間に矛盾が生じた場合は、マスター契約が本サービス ブリーフよりも優先されます。

サービス範囲の変更

サービス、スケジュール、料金、または本書の変更は、Dell EMC とお客様が書面で合意する必要があります。このような変更の範囲に応じて、Dell EMC は、変更を詳述する個別の作業明細書、料金およびスケジュールに対する提案された変更の影響、およびその他の関連条件を当事者が実行することを要求する場合があります。

サービス範囲の除外

Dell EMC は、本書に明記されたサービスの履行についてのみ責任を負います。その他のすべてのサービス、タスク、およびアクティビティは、範囲外と見なされます。

お客様は、Dell EMC にアクセス権を付与したすべてのシステム上で最新バージョンのウイルス対策アプリケーションを継続的に実行し、すべての配布資料とそのデリバリに使用されるメディアをスキャンすることとします。お客様は、合理的なデータバックアップ措置を講じるものとします。具体的には、日次バックアップ処理を行い、かつ、Dell EMC がお客様の本番システム上で修復やアップグレードなどの作業を行う前に、関連データのバックアップを行うものとします。Dell EMC は、データの損失に対する責任が既存の契約または本書に基づいて除外されていない限り、データの損失が発生した場合に、お客様がデータを適切にバックアップしていた場合に生じたデータを復旧するための一般的な取り組みを行う責任のみを負うものとします。

固定入札サービス料金と請求スケジュール

本書に記載されているサービスは、サービス プロバイダーの通常の営業時間中（現地時間午前 8:00 ~ 午後 6 時、月曜日から金曜日、サービス プロバイダーおよび現地の祝祭日を除く）に連日デリバリされます。ただし、サービスによっては、実行されるサービスの性質（オンサイトのハードウェア導入など）により、通常の営業時間外にデリバリされるようにサービス プロバイダーによってスケジュールする必要がある場合があります。

本書に記載されているサービスは、該当するサービス プロバイダーの見積りで指定された料金で、固定価格に基づいて実行されます。

サービスはサービス プロバイダーの標準デリバリモデルを使用してデリバリされ、サービスのオンサイトおよびまたはオフサイトでのデリバリが含まれる場合があります。お客様が別のデリバリモデルを必要とする場合、本書の「サービス範囲の変更」セクションに従って、料金、経費、作業範囲、およびまたはスケジュールが変更される場合があります。お客様が「サービス範囲の変更」セクションに従ってそのような変更を承認しない場合、サービス プロバイダーとお客様は、サービス プロバイダーの標準デリバリモデルがサービスに適用されることに同意します（米国政府または米国の州のエンゲージメントには適用されません。これらのエンゲージメントにはサービスのオフサイトデリバリは除外されています）。

請求書は、お客様の購入オーダーをサービス プロバイダーが受領して承認したときに発行されます。

お客様は、サービスの変更または例外事項に関する追加の金額をサービス プロバイダーが請求することを承認し、これを支払うものとします。

プロフェッショナル サービス利用条件

本ドキュメントは、以下の該当する販売の説明で定義されているお客様（以下「お客様」という）とセールス オーダーに記載されているDell EMCセールス エンティティ（以下「Dell EMC」という）の間のドキュメントとなり、お客様がDell EMCに対して提供を依頼しているサービスに関するビジネス パラメーターおよびその他の事項を規定します。

Dell EMCからお客様への直販：本ドキュメントおよび、ここで説明するサービスの実施は、(i)お客様とDell EMCの間の最新の署名済みプロフェッショナル サービス契約（以下「既存の契約」という）で適用するように指定された利用条件、または(ii)該当する契約が存在しない場合は、以下に指定するプロフェッショナル サービスのDell EMC標準利用条件の対象です。本ドキュメントと既存の契約の間に競合がある場合は、本ドキュメントが適用されるものとします。

認定Dell EMCリセラーによるお客様への販売：お客様が、ここで説明するサービスを認定Dell EMCリセラーから購入している場合、本ドキュメントは、説明と情報の提供のみを目的とするものとし、契約関係を確立することはありません。また、お客様とDell EMCの間での権利と義務のいずれも確立しません。このようなサービスには、お客様とお客様の認定Dell EMCリセラーの間の契約のみが適用されます。Dell EMCでは、本ドキュメントを提供することを、お客様の認定Dell EMCリセラーに許可しています。お客様の認定Dell EMCリセラーは、Dell EMCとの調整により、このようなサービスの一部または全部をリセラー自身で実施する場合があります。

Dell EMCから認定Dell EMCリセラーへの販売：本ドキュメントおよびここで説明するサービスの実施は、以下の契約に指定された、お客様（以下「パートナー様」という）とDell EMCの間のプロフェッショナル サービス契約の利用条件の対象です。(i)存在する場合は、製品およびサービスの署名済み発注契約、または、(ii)存在する場合は、適用可能な署名済みスタンダード プロフェッショナル サービス契約（以下「PSA」という）。上記の両方が存在する場合は、より新しい発効日のものが適用されます。または、(iii)上記の契約のいずれも存在しない場合は、以下に指定するプロフェッショナル サービスのDell EMC標準利用条件。パートナー様は、以下を了承し、これに同意するものとします。(a)ここで説明するサービスの、パートナー様とお客様（以下「エンド ユーザー」という）との契約は、Dell EMCの契約ではありません。(b)パートナー様には、Dell EMCにより別途、書面で明示的に同意されていない限り、Dell EMCに義務を負わせる権利と権限のいずれもありません。また、パートナー様は、Dell EMCに義務を負わせることをそれ以外の方法で表明せず、主張しないものとします。(c)エンド ユーザーは、本ドキュメントと、Dell EMCとパートナー様の間の他の契約のいずれについても第三者受益者ではありません。(d)本ドキュメント「お客様」と言う場合はすべて、サービスを購入しているパートナー様を意味します。および(e)Dell EMCによるサービスの提供がパートナー様の義務によって左右される場合、その義務は、エンド ユーザーへのサービスの提供に関して、エンド ユーザーにも適用される可能性があります。パートナー様は、該当する場合は、このようなエンド ユーザーが必ず、このような義務を果たすようにするものとします。エンド ユーザーがこのような義務を果たすことができない場合、Dell EMCは、その結果としてDell EMCが果たせない義務についての責任を負わないものとします。本ドキュメントと、前述の(i)および(ii)で述べた契約の間に競合がある場合は、本ドキュメントが適用されるものとします。

以下の利用条件が本ドキュメントに適用されます。

1.1 契約期間および終了。本ドキュメントは、前述の「サービス スケジュール」セクションで指定された日付に開始され、規定違反による終了の場合を除き、その期間中継続します。当事者は、他方の当事者による本ドキュメントの重要な規定に対する違反が疑われる場合には、他方の当事者に書面で通知するものとします。通知を受けた他方の当事者は、当該通知を受け取った日から30日以内（「是正期間」）にこれを是正するものとします。当該通知を受けた他方の当事者が是正期間中には是正を行わない場合、当該通知を送った当事者は、相手方に書面で通知することにより契約を終了させることができるものとし、この通知の受領をもってその効力が生じるものとします。

1.2 提供物の著作権または使用権の付与。お客様がDell EMCに対し支払い義務のあるすべての金額を支払う事を条件として、各当事者は、(i)本契約におけるDell EMCの履行義務において、お客様に対してDell EMCが準備、および提供する書面での報告書、分析書、その他の書類によってのみ構成される成果物（以下に定義）の部分に対するすべての著作権をお客様が保有すること、(ii)スクリプトおよびコードで構成される成果物の部分について、以下で考慮するお客様の社内業務運営において使用し、複製し、派生物を作成するための（二次許諾の権利なし）非独占的、譲渡不可、取消不能恒久的（本ドキュメントの規定に違反した場合を除く）権利をDell EMCがお客様に対して付与すること、に合意するものとします。本項で付与される使用権は、(a)お客様が提供する資料、(b)別途の契約に基づき使用許諾を受けたあるいは提供された、その他のDell EMC製品や品目には適用されません。「成果物」とは、本ドキュメントにおける義務履行のフレームワーク内でDell EMCがお客様に提供する報告、分析、スクリプト、コード、その他の作業成果物を意味します。

1.2.1 お客様が提供する資料。お客様は、Dell EMCがサービスを実施するためにお客様がDell EMCに提供する資料のいかなる権利も放棄することはありません。その中のお客様の財産権（以下に定義）につき、お客様はDell EMCに対し、本契約におけるDell EMCの義務履行においてお客様の便益のためだけに使用する、非独占的、譲渡不可使用権を付与します。

1.2.2 財産的権利の留保。他方の当事者に明示的に付与していないすべての財産権は、各当事者自身が保有します。Dell EMCは、本契約に従って提供される提供物またはサービスに類似したサービスや製品の開発、使用、マーケティングにおいて制限を受けず、またお客様に対するDell EMCの守秘義務を条件に、他のプロジェクトでの提供物の使用、または類似のサービスの実施においても制限されないものとします。「財産権」とは、当事者のすべての特許権、著作権、企業秘密、方法論、アイデア、概念、発明、ノウハウ、テクニック、またはその他の知的財産権を意味します。

1.3 機密情報および公開。「機密情報」とは、「機密」、「専有」、またはそれと類似の表示がなされた情報、その特性によって機密であると類推される情報、または口頭で開示された場合は開示時点で機密として特定された情報でその後2週間以内にまためられ適切な形態である旨がつけられた実体のある形態で提供される情報、を意味します。機密情報には、(i)開示当事者から受け取る前に受領当事者が守秘義務を課せられることなく正当に所有していた情報、(ii)公知である情報、(iii)守秘の制限を受けることなく第三者から受領当事者に正当に提供された情報、(iv)開示当事者の機密情報を参照することなく受領当事者が独自に開発した情報、は含まれません。各当事者は、(a)本契約における権利の行使または義務の履行目的においてのみ他方の当事者の機密情報を使用するものと、(b)他方の当事者によって開示されたいかなる機密情報も開示された日から3年を経過するまで、いかなる第三者へも開示せず、受領者が同様の特性および重要性を持つ自身の情報を保護するために払うのと同等の注意を払い、相当な注意を撤回しないものとします。ただし、(1)Dell EMCがサービスの提供に関連してアクセスしたお客様データは、前述に明示された例外事項のいずれかによって適用される機密情報として保持され、また(2)受領当事者は、Dell EMCの財産権の全体もしくは一部を構成する、あるいは含む、または明らかにしている機密情報で、いかなるときにも開示しないものとします。前述の定めにかかわらず、受領当事者は機密情報を、(A)本契約における義務の履行または権利の行使の目的で、自己の関連会社か前述の定めに従っているという条件の下に、関連会社（以下に定義）に対して開示でき、また(B)法的に要求される範囲（受領当事者が開示当事者に速やかに通知することが条件）において開示することができます。「関連会社」とは、Dell EMCまたはお客様が支配する、Dell EMCまたはお客様を支配する、もしくはDell EMCまたはお客様と「共通」の支配下にある法人組織を意味します。「支配」とは、議決権または持分の過半数を所有していることを意味します。各当事者は、他方の当事者の書面による事前承認を得ることなく、本ドキュメントに何らかの形で関連する書面の広報、ニュース リリース、マーケティング資料、その他の刊行物や公式発表を考案、創作、発行、公開してはならず、また第三者に対してこれらの行為を許可または援助してはならないものとします。ただし、各当事者は当該事前承認を合理的な理由なしに保留しないものとします。

1.4 支払い。お客様は、Dell EMCの請求日から30日以内にDell EMCの請求書に記載された通貨でDell EMCからの請求額全額を支払うものとし、それ以降は月利1.5%または合法的な利率のいずれか低いものが加算されます。本契約に従った請求には、お客様の注文書によって生じる付加価値税（VAT）、物品販売税、使用税、物品税、源泉徴収税、動産税、消費税、課税、関税は含まれておらず、これらすべてはお客様がDell EMCに支払うか、または返済するものとします。ただし、Dell EMCの純利益に基づく税金はこの限りではありません。お客様が税金を源泉徴収する必要がある場合、お客様は源泉徴収票をDell EMC (tax@emc.com) に転送するものとします。

1.5 保証、保証の免責事項。Dell EMCは、一般的に公正妥当なものとして業界で認められている水準に従って、標準的な技量でサービスを実施します。お客様は、サービスの実施に不履行があった場合、サービス適用部分の実施後10日以内にDell EMCに通知する必要があります。Dell EMCによるそのような実施の不履行に対する、Dell EMCの全責任およびお客様単独の救済手段は、Dell EMCの自らの選択により、(i)そのような不履行を是正すること、または(ii)本ドキュメントを終了させ、受領済みの料金のうち、そのような不履行に対応する金額を払い戻すことによって、果たされるものとします。本項で明示的に記述され、また適用法で認められている限りの保証を除き、Dell EMC（サプライヤーを含む）は書面または口頭を問わず、明示的なその他のいかなる保証も行わず、すべての黙示的保証を否認します。適用法で認められる限り、市場性、特定目的に対する適合性、権原、非侵害に関する黙示的保証、および法令、法の作用、取引もしくは履行の過程、または商慣習から生じた一切の保証などは明確に除外されます。

1.6 責任の制限。本ドキュメントまたはそれに従って提供されるサービスに関連または起因し、またはそれに関連して生じたいかなる種類の申し立てに関しても、Dell EMCの全責任およびお客様の唯一かつ排他的な救済手段は、Dell EMCの単独の過失に起因することが証明された直接損害に限定されるものとし、本契約に従って提供されたサービスの対価としてDell EMCに支払われた金額をその上限とします。Dell EMCの知的財産権への侵害についての申し立てを除き、いずれの当事者も他方の当事者に対し、いかなる特別損害、結果的損害、懲罰的損害、付随的損害、間接的損害について、逸失利益、データの消滅または利用機会の逸失に因る損害を含むが、それらに限定されず、事前に予見可能であった場合でも、責任を負わないものとします。

1.7 雑則。各当事者は、本契約において、独立した契約当事者として行動するものとします。本契約のいかなる規定も、目的の如何を問わず、いずれかの当事者を他方当事者の代理人または代表者に指名したり、または両当事者を合併事業参加者またはパートナーに定めるものとは解釈されないとします。いずれの当事者も、他方の当事者の作為または不作為について責任を負わないものとし、またいずれの当事者にも、他方の当事者からの事前の書面による承諾なしに、いかなる方法においても他方の当事者を代弁または代表したり、他方の当事者に義務を負わせたりする権限はありません。各当事者は適用されるすべての輸出法、輸出令、輸出規制を遵守し、すべての必要な政府による認可、ライセンス、認可を得るものとします。米国の輸出法を含めて米国の法律に反する転用は、明示的に禁止されます。本ドキュメントは、法に抵触する場合を除き、米国内で行われる取引ではマサチューセッツ州の法律が適用され、米国外で行われる取引ではDell EMCの法人が置かれている国の法律が適用されるものとします。商品の国際物品売買条約に関する国際連合条約は適用されません。

付録 A

追加導入サービス

付加導入サービスは、新しい導入を補完したり、すでに導入されている Dell EMC ソリューションを付加したりする追加導入サービスです。上記の ProDeploy Enterprise Suite サービスのアドオンとして、以下の付加導入サービスが販売されています。

PS-PDPAD-RPAIN - ProDeploy Plus Add-On for RecoverPoint Appliance

このサービスは Dell EMC ProDeploy for RecoverPoint へのアドオンであり、お客様の要件に基づいて、サービスのビルディング ブロックを作成します。このサービスでは、お客様のデータセンターに RecoverPoint アプライアンスを設置します。お客様のラックにアプライアンスを設置し、必要となる電源、ストレージ、ネットワークの物理的な配線を行います。

このサービスには、次の要素が含まれます（ここに示した値を上限とします）。

- 既存の RecoverPoint クラスタに追加する RP 物理アプライアンスの数：1

ここでは、Dell EMC が次の内容を実施します。

- お客様と打ち合わせを行い、環境および運用に関する実装要件（ハードウェア、ソフトウェア、およびインフラストラクチャ）を満たしていることを確認し、アップデートが必要あるいは有益な箇所についてのリストをお客様に提供します。
- ソリューションの設計の検証を完了します。
- 本サービスのインストール作業と構成作業の両方またはいずれか一方を計画しスケジュールを立案します。
- お客様のデータセンターに追加の RecoverPoint アプライアンスを設置します。
- RecoverPoint アプライアンスに電源、ネットワーク、ストレージ リソースのケーブルを接続します。
- 既存の RecoverPoint クラスタのコード レベルに従って、新しいアプライアンスの RecoverPoint コードをアップグレードします。
- ストレージ アレイに対する RecoverPoint アプライアンスのゾーニングとマスキングを実行します。
- RecoverPoint Deployment Manager を使用して、RecoverPoint アプライアンスを構成します。
- 利用資格に基づいてライセンスを取得します。
- ソリューションの設計で定義されているメール通知を設定します。
- インストール ベースを更新します。
- インストール、構成、またはその両方の結果を確認します。

- ソリューション導入の妥当性検査を完了します。
- 構成ガイドを完成させ、配布します。

Copyright © 2020 Dell Inc. その関連会社。All rights reserved. Dell、EMC、Dell EMC、その他の商標は Dell Inc. またはその関連子会社の商標です。他の商標は各社の商標です。